

令和3年9月21日

部課長 各位

犬山市長 山田 拓郎

令和4年度当初予算編成方針について（通知）

実施計画や令和2年度決算に基づき、令和4年度から令和7年度までの財政シミュレーションを作成しました。リーマンショック並みの市税の落ち込みを見込むなど、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」とします。）の影響による最悪の状況を想定した1年前のシミュレーションと比べ、好転しています。幸いにも令和2年度に見込みほど市税が落ち込まなかったことや、市債の増額、国の補助金の追加交付があったことなどにより、危機的な状況に陥ることはありませんでした。とはいえ、この先もコロナの影響を見極めることが困難であることは変わらず、また、財政的に余裕が生じたわけでもありません。

コロナによる予算への影響に対応できるよう今後の情勢を注視しつつ、「子どもから高齢者までが幸せに暮らし、産業が栄える犬山」を目指し、次により令和4年度の予算編成をスタートすることとします。

1 重点事業

子育て・教育 多子多胎世帯支援、読解力向上推進、犬山南小学校整備、城東小中学校整備、新橋爪・五郎丸子ども未来園整備、図書館ICT化

産業振興 企業再投資促進、中小企業等事業継続支援

都市整備 富岡荒井線整備、楽田桃花台線整備、地区計画道路整備

環境 公共施設LED化推進、自動車ゼロエミッション化推進、河川空間活性化（栗栖・内田）

医療福祉 福祉医療助成、障害者自立支援、国民健康保険運営

懸案事項 広域ごみ処理施設整備、城東中学校南側多目的広場整備

生活・防災 消防ポンプ車更新、五ヶ村排水路整備、橋梁長寿命化、防災重点ため池耐震補強、防犯カメラ設置

行政改革 大手門まちづくり拠点施設活用、楽田出張所・消防団車庫移転、ふるさと納税や空間活用による財源確保

コロナ 各種感染対策、住民や事業者への支援

2 予算要求に際しての留意点

- ・市の予算は、市民のため、市の将来のためのものであることを強く意識すること。
- ・創意工夫による市民サービスの利便性・効率性・付加価値の向上を図ること。
- ・常に事業や事務のあるべき姿を検証し、先進自治体や民間との比較などを実施すること。
- ・事業効果と市民の信頼を高めるため、見せ方・伝え方を工夫すること。
- ・資産活用についての創意工夫を行うこと。（公共空間の活用、官民連携など）
- ・近隣市町との事業の共同化を検討すること。
- ・新たな補助金等を獲得するために積極的な情報収集を行うこと。
- ・この2年間の実態に鑑み、歳入歳出の両面でコロナを考慮すること。